



お話の学習指導案



教育目標

題名 ・ かしこいぜんとくじょうおう (ソンドクニョワン)

年齢 ・ 児童(6~9歳)

主題 ・ 目標:りっぱな王になれたぜんとくじょうおう (ソンドクニョワン)のかしこさについてならう。
・ 主題:ちえ

キーワード ・ ぜんとくじょうおう (ソンドクニョワン)、しらぎ (シルラ)、ボタンの花、花、女王、女、おひめさま、王、王さま

韓国文化 ・ 目標:韓国 (かんこく) のすぐれたれきしをもつしらぎ (シルラ) についてきょうみをもつ。
・ しらぎ (シルラ)

韓国語

- ・ 目標:ぜんとくじょうおう (ソンドクニョワン) のお話をきいて、花のとくちょうを話す。
- ・ 単語: 예쁘다 (きれいだ)、향 (かおり)、색깔 (いろ)
- ・ 表現:
모란꽃은 예뻐어요. (ボタンの花はきれいでした。)
향이 나지 않아요. (かおりがしませんでした。)
색깔이 다양해요. (いろがさまざまでした。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話をる‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、だいめい、さっさと出てこい！
"かしこぜんとくじょうおう(ソンドクニョワン)"のお話です。
みなさん、"王"ということばをきいて、なにがおもいつきますか？力がつよくて、こえが大きい人をかんがえましたか？国を正しくみちびくためにはりこうで、かしこくなければいけません。たみたちは王のけんめいなけっていをまっしているからです。かしこい王は国を力づよくし、たみをしあわせにします。今日はかしこくてけんめいなぜんとくじょうおう(ソンドクニョワン)のお話です。ぜんとくじょうおう(ソンドクニョワン)がどれだけかしこかったのか、お話をきいてみましょうか。



お話の始まりの歌を歌う

"かしこいぜんとくじょうおう(ソンドクニョワン)"のお話の中へしゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかしむかし、しらぎという国がありました。しらぎにはしんちょうがとてもたかく、力もつよい王さまがすんでいました。どれだけ力がつよいのか、石のかいだんを上がったら、いちどに3つがくずれてしまったこともありました。王さまはたみたちのために、まじめにはたらきました。ところが、月日がながれると、王さまもだいぶとしをとりました。

“これはえらいことだ！だれがわたしのかわりに王になればいいのであろうか。”

じつは王さまにはむすめが3人いました。しらぎじだいにはおとこだけが王さまになることができたため、王さまはどうしたらいいのか、まい日まい日、なやみました。

“長女はかしこいから、王にはぴったりだ！しんかたちのいけんをきいてみよう！”

王さまはしんかたちをよびあつめ、だれを王にするのかたずねてみました。

“王さまにはむすこがないので、ほかのりこうな力のある人をさがさないといけません。”

“そのとおりです！”

しんかたちのことばをきいた王さまは、とてもなやみました。

そのとき、一番上のおひめさまが言いました。

“わたしがおとうさまのあとをついで、つぎの王になります！”

そのことばにみな、ざわざわとしました。

“だめです。女は王さまにはなることができません。”

“そうです。女が王さまになったこともありません。”



お話を聞かせる

しんかたちのはんたいにもおひめさまはきじょうに言いました。
“女だとなぜ、王になれないのですか？わたしはいくらでもよくできます。”
しんかたちははんたいしましたが、おひめさまはあきらめませんでした。

そんなある日でした。ちかくの国の王さまがおくりものをおくりました。ボタンの花のえ（絵）と花のたねでした。え（絵）の中のぼたんはあかいろ、あかむらさきいろ、白いろ、このように3つありました。はなやかで、きれいでした。

“こんなにうつくしいボタンの花のえ（絵）をおくってくれるとは。はは、ほんとうにすてきなおくりものだ。”

“たねをうえてみると、え（絵）のようにきれいでこうばしい花がさきそうだ。ははは”

そのとき、え（絵）をゆっくりと見いていた一番上のおひめさまが言いました。
“この花はうつくしいですが、かおりがないでしょう。”

みながとてもおどろきました。王さまがわらいながら、言いました。

“はははは。おまえはそれをどうしたのか？”

“え（絵）の中にちょうがいないからです。花のかおりがあれば、はちやちょうがとんでいるでしょう。”

“おまえのことばがあっているのか、たねをうえてみたらわかるだろう。”

王さまはボタンの花のたねをうえました。そして、花がさくまでいっしょうけんめいそだてました。ほんとうにえ（絵）の中の花のように、ボタンがきれいにさきました。あかいろ、あかむらさきいろ、白いろ、そのいろもさまざまでした。



お話を聞かせる

しかし、まったくかおりがしませんでした。え(絵)のように、まわりにちょうがあつまったりもしませんでした。

“ははは。ほんとうにかおりがないな!ははは、え(絵)だけ見てもわかるとは、ほんとうにかしこいのだなあ!”

“けんめいな一番上のおひめさまが王さまになってもよさそうだ。”

しんかたちはかしこい一番上のおひめさまをほめました。

ついに一番上のおひめさまはおとうさまのあとをついで、王さまになりました。このかたがまさに、韓国(かんこく)さいしょの女王である、ぜんとくじょうおうです。ぜんとくじょうおうはたみたちがよくらせるようにどりよくしました。

ぜんとくじょうおうはちかくの国のくだらやこうくりがせめてくることにそなえて、ぐんたいもしっかりとじゅんびしました。空の星をよく見られるせんせいだいもつくりました。せんせいだいのおかげで、てんきをまえもってしることができたみたちは、のうじをするときにとてもたすかりました。

こうりょうじの9かいにもなる大きな木のとうもつくりました。しらぎをみまもってくれるたからものでした。

ぜんとくじょうおうはしょうがい、たみたちと国をほんきであいしました。そのおかげで、たみたちはへいわなせいかつをおくれました。ぜんとくじょうおうは女でもりっぱな王になれることをかっこよく見せてくれました。ながいじかんがすぎた今でも、人びとはぜんとくじょうおうをながくながく、おぼえているといいます。



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか？

お話にでてきたボタンの花はどのような花でしたか？そうですね、ボタンの花はきれいでした。あかいろ、あかむらさきいろ、白いろのいろがさまざまでした。でも、かおりがしなかったのですね。だから、ちょうちょうがとんでいなかったのです。

みなさん、ぜんとくじょうおう (ソンドクニョワン) はどの国の王さまでしたか？

そうですね。しらぎ (シルラ) です。韓国 (かんこく) のけいしゅう (キョンジュ) に行くと、しらぎ (シルラ) のこんせきを見ることができます。しらぎ (シルラ) のさまざまな王がうめられている大きなおはかもあります。空の星を見ることができるせんせいだいもあります。2つの大きな石のとうでゆうめいなプルグクサや石をつんでぶっきょういせき (仏教遺跡) をつくったせつつあんもありますね。しらぎ (シルラ) のどくとくのぶんかにきょうみがあれば、けいしゅう (キョンジュ) に行ってみてはどうですか？

しらぎ (シルラ) にきょうみがあるおともだちは、"どらんどらんお話ホームページ"でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと"かしこいぜんとくじょうおう(ソンドクニョワン)"のお話をいちどまとめてみましょうか？

しらぎ(シルラ)じだいでは女が王さまになれないとかんがえていました。しかし、一番上のおひめさまは王さまになりたいというきもちをあきらめませんでした。はんたいしたしんかたちとけんかをせずに、しんかたちにボタンの花のえ(絵)で、じぶんのかしこさを見せました。しんかたちはけんめいな一番上のおひめさまが、王さまになったらよいとかんがえました。みなさん、わたしたちみんながぜんとくじょうおうさま(ソンドクニョワンニム)のようにかしこく、生かっしてみましよう。なやみがあれば“このようなとき、ぜんとくじょうおうさま(ソンドクニョワンニム)はどのように話してこうどう(行動)するか？”とかんがえてみてください。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！